

2013₉月号



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

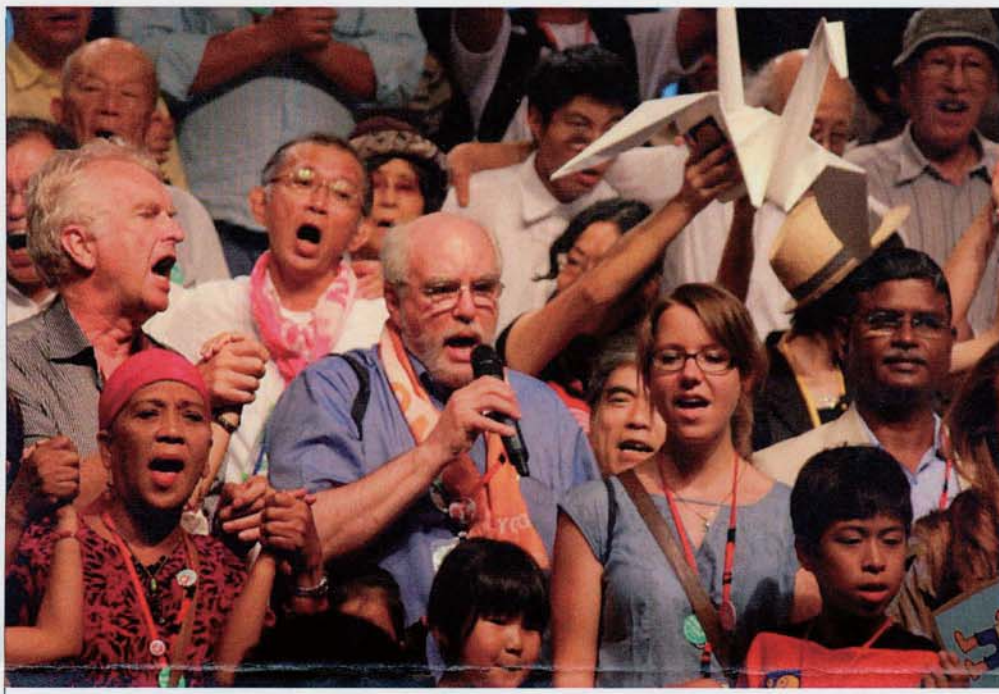


原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

2013年原水爆禁止世界大会

(世界大会特集号)

世界大会に感動と確信!



☆長崎大会ファイナーレ (8月9日)



☆大阪代表団を代表して堀尾晴真さん (けいはん医療生協)

2015年NPTへ 世界から大きな力を

世界大会は

「平和の学校」そのもの

大阪から今世界大会には、
広島大会に二五名、長崎大会
に三五一名、計三七六名が参
加。この約七割が「初めて」
の参加者でした。

六一名から寄せられた感
想文には、「初めて参加し
ましたが、感動して涙が出
ました。感動して涙が出
た。感動して涙が出た。感動して涙が出た。」
「自分の生き方を見つめ
直し、署名をがんばりた
い」「2015年NPT
ニューヨークに行きたい」

大阪代表団

閉会集会盛り上げ

九日の閉会集会に、
大阪代表団を代表し
て、西淀川や平和委員

などの、感動と確
信の感想が寄せ
られています。大
阪原水協で今、
「報告集」が準備
されています。
会の青年五十名が元氣
に「大阪一〇〇万署名
推進ポスター」掲げて
登壇。代表して、堀尾
晴真さんが、「二〇一五
年NPT再検討会議に
向けて、大阪から百万
の署名と百五十人以上
の代表団をニューヨー
クへ送ります」と・宣
言すると、会場からど
よめきと歓声があがり
ました。堀尾さんは、
スピーチ前に参議員・

辰巳孝太郎さんを紹介。
辰巳議員が手を振ると、
参加者から万雷の拍手
が送られ、会場は最高潮
に、ヒートアップ。辰巳
議員は、短いスピーチ
の中で、「国会議員とし
て、安保条約をなくす
核兵器をなくす先頭に
立ち奮闘します」の決意
に、会場割れんばかりの
拍手が送られました。三
五一名の大代表団にふ
さわしい奮闘ぶりでした。

「核兵器全面禁止のアピール」署名

(2013年9月4日現在)

33万4567筆

世界からたくさん学んで

2013年原水爆禁止世界大会



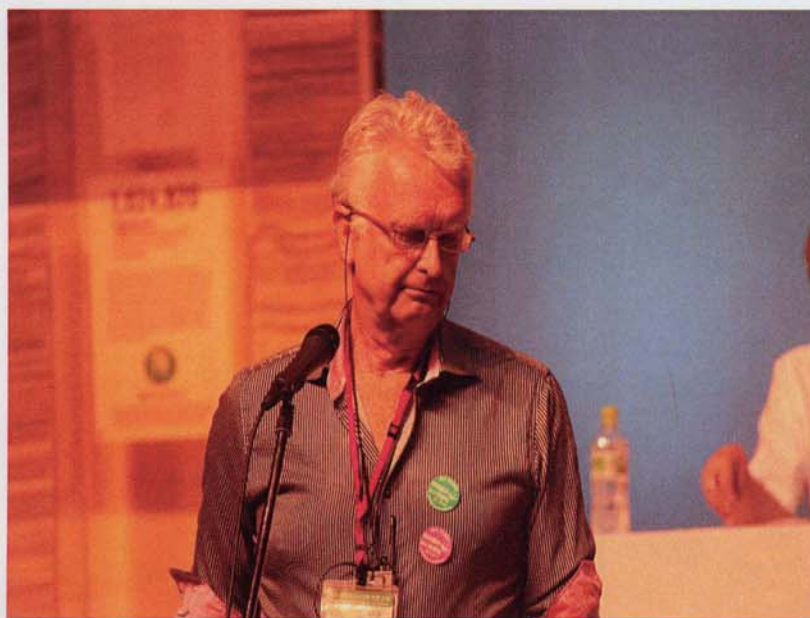
☆熱く語るオリバー・ストーン監督(9日長崎)

今世界大会の広島でも長崎でも、精力的に、参加者に語り続けたオリバー・ストーン監督。一貫して、歴史を見る「真実の眼」を強調しました。保守的で、ベトナム戦争にも志願兵だったストーンさん、50を過ぎてから「アメリカの大ウソ」に気づきます。アメリカの学校では、「原爆投下はアメリカ兵10万人救った」と子どもたちに教えているが、「日本は降伏を模索しており、原爆投下はソ連との核軍拡競争に打ち勝つための戦後政治の戦略のためのものであり、原爆投下は必要なかった」と熱弁。日本の侵略の歴史の事実を見つめることの大切さも強調されました。



☆ジュディス・ルブランさん(アメリカ・ピースアクション)

フレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガーソンさんとともに、2010年NPT再検討会議のニューヨーク行動で日本代表団を歓迎してくれた一人です。2015年NPT再検討会議に向けて、世界中の平和の力を結集を呼びかけると同時に、「核兵器のない平和で公正な社会の実現」を訴えています。「アメリカ社会ではまともな食事をとれない家庭が増え、貧困はもうひとつの大量破壊兵器であり、核兵器と表裏一体のもの。何十億ドルの軍産複合体が世界の軍事基地に使われ、国民が犠牲になっています」と、アメリカの核兵器と貧困の問題を糾弾しています。



☆トマス・マグヌソンさん(国際平和ビュロー共同会長)

ノーベル平和賞を受賞している国際平和ビュロー(IPB)共同会長です。日本原水協の国際部長・土田早苗さんがこの団体の役員を務めています。30年前にこの世界大会に参加し、今回で5回目。スウェーデン出身で18歳から平和運動に参加。「私たちが世界大会に参加しているのは、私たちの子どもたちや将来の世代のためです。2010年NPTの最終文書に日本もスウェーデンもアメリカも賛成しているわけですから、自国の政府に、これまでにどのような努力をしてきたかを問い、せまりましょう。2015年の再検討会議には、世界から核保有国を包囲しよう」と、長崎大会でも強く訴えました。

世界大会は「真の世界大会」です!

「世界大会の記録」発売中 千五百円